

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		消火栓取替工事（川路）					担当課		地域振興課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度														
							担当G		地域振興グループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)													
							予算科目		会計	款	項	目	備考																			
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	2	＜生活環境＞自然や風土と共生する安心で豊かなまち					予算科目		1	9	1	3		ア		修繕・工事請負対応率		%	0 0	0 0	1	1	1							
（個別目標）			5	誰もが安心して暮らせる災害に強いまち					主な費目		工事請負費					イ		開庁日数		日												
（施策）			2	消防用設備・機器の充実					対象		市民		成果指標（成果・効果）		単位		(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)										
（基本目標）			4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる											事業期間		R7年度～ R7年度（1年間）	ア		庁舎及び設備に関する不 具合苦情件数		件	0 0	0 0	100	100	100					
（施策）		8	地域防災力強化プロジェクト											イ																		
(1) 総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)		5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (計画・予算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		(4) 評価		所管課による評価															
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円											有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	既にあった消火栓の取替工事であり、水利の確保の観点からも迅速な対応が必要となる。振興計画体系「消防体制の強化」に合致しており、類似の事業は無く、公平性も保たれている。															
		財源内訳	その他特定財源	千円																												
		財源内訳	一般財源	千円	0	0	0	1,500	1,500	1,500																						
	人件費	事業費計（A）	千円	0	0	0	1,500	1,500	1,500																							
		所要人員（年間）	人	0.000	0.000	0.000	0.100	0.100	0.100																							
		人件費概算（B）	千円	0	0	0	560	560	560																							
		人件費単価	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600																							
(A) + (B)		千円	0	0	0	2,060	2,060	2,060																								
(2) 事業概要																																
事業目的		事故によって破損した消火栓の取替工事を行うことで、火災の際の迅速な消火活動につながり、被害を最小限に抑えることが可能となる。																効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	市民の人命、財産を守るための消火栓設置であり必要性は高い。												
事業内容		破損した消火栓の取替工事を行う。																														
開始経緯		場所は県道本村・宮塩線を有明東インターから北へ約2.5km進んだ変則の交差点である。車両がぶつかった形跡があり消火栓が根元から折れており、警察へも届出をしているが、ぶつけた車両を見つけることは難しいとの見解であった。近隣に住宅があり、直近の既存消火栓からは約200m距離があるため、早急な対応が必要である。																達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	既存の消火栓の破損に伴う取替修繕であり、火災の際に迅速に対応することが可能になった。今後も年次的に老朽化した水利の修繕と、並行して水利の空白地帯への新設も行っていく。												
実施状況		6/16契約 8/26変更契約																														
成果		水利の空白地帯を解消し、火災の際、迅速な対応が可能となる。																改革改善案	拡充		○	現状維持			改善			効率化			廃止終了	
課題		今後、老朽化した水利の修繕と並行して、不足している水利の新設も行っていく必要がある。																	年次的に新設・修繕を行っていくための計画を作成する必要がある。													

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		第4分団詰所新設事業		担当課	地域振興課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
				担当G	地域振興グループ					活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	工事対応率		0	0	0	100	100		
(個別目標)		振興計画体系	5	誰もが安心できる災害に強いまち	主な費目	委託料、公有財産購入費、工事請負費					イ									
(施策)		振興計画体系	3	地域防災力の向上	対象	消防団員、市民					成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							ア	公共施設の集約化	年	0	0	1	1	1		
(施策)		総合戦略	8	地域防災力強化プロジェクト	事業期間	R7 年度～ R7 年度（2年間）					イ	修繕件数	回数	0	0	0	0	0		
(1)総事業費の推移				単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	事業費 内訳	国県支出金	千円								有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	現在の詰所、野神車庫を統合し、中間地点に新設することで、野神校区、山重校区の火災や災害に迅速に対応することができるようになる。また、公共施設の集約化も可能になり政策との整合もとれている。事業を廃止し、修繕で対応した場合も躯体の状態が悪いため、定期的に多くの修繕を行うことになりトータルコストは増大する。類似事業は無く、公平性も保たれている。							
		その他特定財源	千円																	
		一般財源	千円	0	0	0	5,080	50,000												
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	5,080	50,000												
		所要人員 (年間)	人				0.200	0.200												
		人件費概算 (B)	千円	0	0	0	1,120	1,120												
(A) + (B)		千円	0	0	0	6,200	51,120													
(2)事業概要																				
事業目的	消防・防災の拠点となる第4分団詰所の老朽化が顕著なため、詰所を新設することで、火災や災害時に、安全・安心・効率的に施設を活用することができる。また、第4分団野神車庫も統合し、中間地点に建設することで公共施設の集約化にもつながり、さらにコミュニティの集会施設や避難所等、複数の機能をもたせることで、今後の公共施設の集約化にも寄与できる。																			
事業内容	第4分団詰所を新設する。令和7年度に設計・用地買収を行い、令和8年度で建設する。																			
開始経緯	平成3年3月に建設された鉄筋コンクリート造、2階建ての詰所である。現在、築34年が経過しており、雨漏り、漏電、汲取槽の浸水等様々な問題が出てきている。躯体の状態が悪いため、修繕を行っても今後継続的に多くの修繕料がかかってくることが容易に予想できる。そのため新設し、既存施設を統合・廃止、また、コミュニティ施設や避難所等、複数の機能をもたせることで公共施設の集約化にも寄与できる。																			
実施状況	6月 土地売買契約・所有権移転 7月 詰所設計委託																			
成果																				
課題																				
改革改善案	拡充		現状維持		○ 改善		効率化		廃止終了											

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		庁舎管理事業		担当課	地域振興課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
				担当G	地域振興グループ					活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
				会計	款	項	目	備考	(実績)			(実績)	(実績)							
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	予算科目	1	2	1	3		ア	修繕・工事請負対応率	%	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	
(個別目標)		1	効率的で質の高い行政経営が推進されるまち	主な費目	需用費、役務費、委託料使用料及び賃借料、備品購入費					イ	開庁日数	日	247 247	248 248	246 246	245 245	245 245	245 245		
(施策)		3	行政サービスの利便性の向上	対象	職員、市民						成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる								ア	庁舎及び設備に関する不具合苦情件数	件	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
(施策)		3	公共施設最適化プロジェクト	事業期間	H18 年度～ 年度（ 年間）					イ										
(1)総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価									
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	庁舎の修繕については、計画的な予防保全型の管理を行うことにより、トータルコストの削減が可能となる。また、維持管理・修繕等の履歴を管理・蓄積し今後の老朽化対策に活用する。								
		財源内訳	その他特定財源	千円	50,483	982	2,112	3,649	3,600										3,600	
	財源内訳	一般財源	千円	28,584	37,847	38,226	32,233	32,000	32,000											
	事業費計 (A)	千円	79,067	38,829	40,338	35,882	35,600	35,600												
	所要人員 (年間)	人	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750												
	人件費概算 (B)	千円	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800	9,800												
(A) + (B)		千円	88,867	48,629	50,138	45,682	45,400	45,400												
(2)事業概要																				
事業目的	行政サービスの拠点となる庁舎を適正に管理することで、来庁者が安全・快適に利用でき、各設備の不具合による業務停滞を防ぎ、効率的で質の高い行政運営ができる。																			
事業内容	(1) 庁舎設備維持管理（空調設備等改修設計、エレベーター修繕、不良箇所及び水道設備等修繕など） (2) 各設備の保守点検業務委託（自動開閉装置、エレベーター、空調設備、庁内電話、非常用発電設備）及び庁舎清掃業務委託 (3) 庁舎の利用者が常時快適に利用できるよう整理整頓する。（置物や書類の片付け、ポスター掲示等）																			
必要性	昭和58年庁舎建築により開始され、平成18年1月の合併に伴い規則が制定された。																			
実施状況	有明支所本館エレベーター修繕、有明庁舎別館自動火災報知設備火災受信機修繕、有明支所本館1階系統（東側）空調機修繕、有明支所本館1階系統（東側）空調機子機修繕、有明支所本館1階東側扉緊急取替修繕、各委託業務																			
成果	庁舎に関する様々な不具合を適切な修繕等に対応したことで、職員・来庁者が安全・快適に利用でき、業務停滞を防ぎ、効率的で質の高い行政運営を行うことができた。																			
課題	昭和58年に建築されているため、施設の老朽化が進んでおり、空調機、非常用放送設備の更新及びトイレ設備等、今後対応がさらに多くなってくることが予測される。																			
		拡充			現状維持	○	改善			効率化			廃止終了							
		・修繕が必要な個所の把握と、耐用年数に応じた設備等の更新計画を策定し、適正な管理に努める。																		

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		車両管理事業		担当課		地域振興課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				担当G		地域振興グループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				会計	款	項	目				備考	(実績)	(実績)	(実績)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画	7	＜行財政＞市民とともに歩む「ムダ」のない経営		予算科目	1	2	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										</

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		財産管理事業		担当課	地域振興課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
				担当G	地域振興グループ					活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	普通財産管理対応率	%		100	100	100	100	100	
					1	2	1	3							100	100				
(個別目標)		1		効率的で質の高い行政経営が推進されるまち	主な費目	役務費、委託料、工事請負費					イ									
(施策)		3		行政サービスの利便性の向上	対象	職員、市民						成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
(基本目標)		4		魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							事業期間	H18 年度～ 年度（ 年間）					ア	普通財産苦情件数	件	
(施策)		3		公共施設最適化プロジェクト							イ									
(1) 総事業費の推移		単位		4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価								
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	普通財産については、早期に売却の準備をすることで、草刈り等の管理費削減に繋がる。 また、市民に対し、適正な価格での土地売却に繋がる。								
		その他特定財源	千円		553	9	9	9	9											
		一般財源	千円		1,764	2,172	316	320	320											
		事業費計 (A)	千円	0	2,317	2,181	325	329	329											
		所要人員 (年間)	人		1,000	0.250	0.250	0.250	0.250											0.250
		人件費概算 (B)	千円	0	5,600	1,400	1,400	1,400	1,400											1,400
(A) + (B)		千円	0	7,917	3,581	1,725	1,729	1,729												
(2) 事業概要																				
事業目的	市有地等（駐車場等を含む）を適正に管理及び整備することで、市民が安全・快適に利用でき、各設備の不具合による業務停滞を防ぎ、効率的で質の高い行政運営ができる。																			
事業内容	有明庁舎駐車場外灯改修工事（8基撤去し、3基を更新）																			
開始経緯	平成18年1月の合併に伴い志布志市公有財産管理規則が制定された。																			
実施状況	6月17日～9月17日 駐車場外灯改修工事																			
成果	老朽化した駐車場外灯を更新したことで、市民及び職員の安全を確保することができた。																			
課題	駐車場外灯については、庁舎建築時の昭和58年に設置されていると推測される。築40年経過していることから支柱部分の老朽化が進んでおり、台風等の影響により破損し、大きな被害に繋がることが予測されるため、早急な改修が必要と思われる。																			
												改革改善案	・普通財産管理については、随時現場を確認し、計画的にシルバー人材センターへ依頼することと、担当課で対応できる作業については、速やかに対応する。							
												拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了			